

TSUDA TODAY

No. 127

津田塾大学
May 2023



2023年度 入学式式辞

▶学長 高橋 裕子

今日、みなさんは期待と不安、そして新たな節目を迎えた達成感を味わいながら、このキャンパスにいらしたことでしょう。最近の卒業生も、半世紀前に卒業した同窓生も、本学でもっともよかったことの一つは、「志の高い仲間に出会っていたこと」と語ります。学生同士が切磋琢磨するカルチャー、「魔法のような力」があると言うのです。

背景には津田塾大学のキーワード“all-round women”があります。1900年、津田塾大学の前身「女子英学塾」開校式で、津田梅子が日本語の式辞の中で使った唯一の英語です。梅子は次のように述べました。

「英語を専門に研究して、英語の専門家にならうと骨折るにつけても、完(まっ)たい婦人となるに必要な他の事柄をゆるがせにはなりません。完(まっ)たい婦人即ち all-round women となるように心掛けねばなりません」

女性が高等教育を受けること自体、許されない時代に、梅子は明治の女性たちにもリベラルアーツ教育の機会を開きたいと切望し、「完(まっ)たい婦人」では伝えきれない理想を、敢えて“all-round women”と英語で言い直したのです。

その理想は、2度目に留学した、米国プリンマー大学で体験した教育でした。同様の校舎や設備、そして教授陣は到底準備できません。しかし、少人数の生徒の特質に応じた教育を提供し、ここで学ぶ学生たち一人ひとりを、“all-round women”に育てることを目指しました。リベラルアーツ教育の機会を保障することで、女性も男性と対等な自立した個人となることを心から願ったのです。

いま、女子大学の存在意義が大きく問われています。「なぜ、21世紀のいま、女子大学なのか」「わざわざ女子大学で学ぶ意味は何か」と。

世界の多くの国々と比べて日本はジェンダーギャップが極めて著しい社会です。最新の世界経済フォーラムの報告では、146カ国中116位。特に、政治・経済分野において大きな男女格差があります。女性が意思決定をする立場に十分には位置していません。

女子大学である津田塾大学では、学生たちがそのような社会に出ていくことを前提に、女性を常にセンターに据え、エンパワーしてきました。

本学では学長、学部長にも女性が就き、教授やセンター長に占める女性割合も全国平均よりずっと高い。女性のリーダーシップを学生は間近で共有できます。「女性はこのような容姿でなければ」、「このように振る舞わなければ」、などと、自分自身に課してきた役割や期待を大きく変えることができる。ロールモデルにも数多く出会い、社会を変革しようと様々な働きかけを行ってきた女性たちから学ぶことができます。

日常生活を通して、女性が中心に位置し、存分に力を発揮することによって何の違和感もなくなり、“We can do it”と思えるようになる。そのような時間を津田塾の4年間で過ごしていただきたいと思います。



津田塾大学は、どのような場所に置かれても「変革を担う、女性であること」をモットーに掲げています。本学のミッションステートメントは次の通りです。

- 弱さを、気づきに。
- 強さを、分かち合う力に。
- 不安を、勇気に。
- 逆境を、創造を灯す光に。

モットーとともに、胸に刻んでください。大学のWebサイト“Diversity of Our Lives”では多彩な分野で変革を担っている、様々な年代の卒業生100人以上のプロフィールと、みなさんへのメッセージが載っていますので、ぜひご覧になってください。

みなさんがここで学んでよかったと何十年も経ってから思えるような、生涯にわたってインパクトのある、充実した学びを本学で経験されることを期待してお祝いの言葉といたします。

■ 2023年度入学者数

学部	学科	入学定員	1年次	2年次	3年次	4年次
学芸学部	英語英文学科	220	197	—	1	—
	国際関係学科	200	216	1	5	—
	多文化・国際協力学科	70	87	—	—	—
	数学科	45	59	1	—	—
	情報科学科	45	63	—	—	—
	小計	580	622	—	—	—
総合政策学部	総合政策学科	110	121	—	—	—
学部合計		690	743	2	6	—

大学院	課程	入学定員	1年次	2年次	3年次
文学研究科	修士課程	15	12	—	—
	後期博士課程	5	2	—	—
理学研究科	修士課程	10	11	—	—
	後期博士課程	3	0	—	—
国際関係学研究科	修士課程	10	5	—	—
	後期博士課程	3	0	—	—



会場内



入学式会場前

ようこそ津田塾大学へ(留学生紹介)

2023年4月に8名の交換留学生在津田塾大学に入学しました。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

● CY セルジー・パリ大学(フランス)

VORNG SARAH MARIE (ヴォルヌグ サラ マリー) / 英語英文学科
EL MAHJOUBI WIDAD (エル マジュビ ウィデッド) / 英語英文学科

● スペルマン大学(アメリカ)

AVERY TEALA (エイヴリー ティーラ) / 多文化・国際協力学科

● 梨花女子大学(韓国)

PARK SEOYEONG / 朴曙英 (パク ソヨン) / 国際関係学科
CHANG SUNGMIN / 張性珉 (チャン ソンミン) / 国際関係学科
LEE HYUNJUNG / 李炫姪 (イ ヒョンジョン) / 国際関係学科

● ハノイ国家大学外国語大学(ベトナム)

NGUYEN CHUC AN / 阮祝殷 (グエン チュック アン) / 国際関係学科
NGUYEN DIEU VY (グエン ジエウ ヴィ) / 多文化・国際協力学科



津田梅子記念同窓会賞受賞者発表

津田塾大学同窓会では、成績・人物ともに優れ、奉仕の精神に富む4年生に対して、「津田梅子記念同窓会賞」を授与しており、このたび2023年度の受賞者が決定しました。皆様、受賞おめでとうございます。

<学芸学部>

英語英文学科
国際関係学科
多文化・国際協力学科

望月 京佳
狩野 くるみ
宮澤 恵実

数学科
情報科学科

近成 秋穂
小島 美緒

<総合政策学部>

総合政策学科 早川 ことは

2023年5月8日以降の新型コロナウイルス感染症への対応について

2020年から新型コロナウイルス感染症が拡大して以来、学生、保護者、教職員の皆様にはオンラインでの授業実施や課外活動での制限など、さまざまな点でご協力をいただきました。2023年5月8日より新型コロナウイルスは、法律での分類がインフルエンザと同じ第5類に分類され、本学ではこれに合わせて入構制限をレベル1(通常)とするなど、今まで行ってきたキャンパス内での各種制限を緩和しました。

なお、新型コロナウイルスが無くなったわけではなく、大規模流行の可能性も残っています。また、重症化リスクが高いとされる基礎疾患のある人、高齢者に対する配慮も大切です。引き続き3密(密集、密閉、密着)の回避、手指の消毒、ソーシャルディスタンスを保てない場でのマスク着用、十分な換気の実施など、基本的な感染予防をお願いいたします。

2023年度入試結果報告

2023年4月10日時点

学芸学部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
英語英文学科	220	1,018	966	766
国際関係学科	200	1,326	1,277	864
多文化・国際協力学科	70	433	402	260
数学科	45	304	288	209
情報科学科	45	245	234	149
計	580	3,326	3,167	2,248
総合政策学部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
総合政策学科	110	879	836	320
計	110	879	836	320

大学院(修士課程)	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
文学研究科	15	14	14	12
理学研究科	10	17	13	12
国際関係学研究科	10	7	7	5
計	35	38	34	29
大学院(後期博士課程)	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
文学研究科	5	4	4	2
理学研究科	3	0	0	0
国際関係学研究科	3	1	1	0
計	11	5	5	2

※単位は人数。一般選抜の他に、総合型選抜、学校推薦型選抜、特別入試、社会人入試を含みます。編入は含みません。

津田塾大学 2023年度事業計画

I 基本方針

自立した女性の育成のために、質の高いリベラルアーツ教育を目指した津田梅子が創立した女子英学塾の建学の精神は、津田塾大学の教育理念として、今日に至るまで連綿と受け継がれている。建学以来の伝統である高度な英語教育、少人数制セミナーを柱とする教育は、習熟度別クラスの導入、学科横断コースの設置などの工夫をさまざまに重ねつつ、それぞれの時代の要求する高度な能力を備えた人材を社会に送り出してきた。しかし、急速なグローバル化、少子化が進み、大学間競争が激化しつつある現在、本学は大学としてのミッションを再確認するとともに、迅速に教育改革を押し進め、他大学にはない個性と特色を打ち出す必要に迫られている。

津田塾大学では、2017年に中長期ビジョン Tsuda Vision 2030 を策定し、Tsuda Vision 2030 を着実に実現するために、2019年に中期計画(2020年度ー2023年度)を立案した。2023年度は第

1期中期計画の最終年度にあたるため、4年間の総括を行うとともに、認証評価の結果を踏まえ、2023年度までの成果と課題を活かして第2期中期計画を立案する。

2020年度に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により、第1期中期計画の実施スケジュールの変更を余儀なくされたが、2023年度の重点事業はこの中期計画に沿って実施する。

また、経常的に実施する事業については、以下の基本方針で実施する。

- ▶ 教育・研究について、引き続き、その質の向上を図る。
- ▶ 教育・研究の各側面において、中長期ビジョンを視野に入れ、必要な改革を進める。
- ▶ 財政をさらに改善する。

II 事業計画

1. 重点事業

2023年度は中期計画に沿って以下の重点事業を実施する。

【教育に関する計画】

[1] 学部カリキュラムの見直し

中長期ビジョン Tsuda Vision 2030 を実現するため「3ポリシー策定のための全学的な基本方針」に基づき学部カリキュラムを見直す。

【学生支援に関する計画】

[2] 学修支援強化

2021年度までに検討した内容を踏まえ、学修支援機能の必要な改善を行う。

[3] 奨学金制度の周知と柔軟な運用

奨学金制度の柔軟な運用を行い、必要な改正を行う。

[4] 進路支援強化

社会状況の変化に鑑みて対象学年を区別しないシームレスなキャリア形成支援を行い、個々の特性を活かした納得のいく進路決定ができることを目指す。

【研究に関する計画】

[5] 研究の推進及び管理

研究体制整備・充実と研究の推進

- Tsuda Vision 2030 のもと、国際的に通用する学術的な研究活動を行い、地域社会の発展に貢献することを目標に掲げ、言語文化研究、国際関係研究、数学・計算機科学研究及び総合政策研究の各分野を重点研究領域とする。

公的研究費管理体制を維持・管理

- ガバナンスの強化、コンプライアンスの意識の更なる向上に向けた啓蒙活動および不正防止システムを強化する。

【国際化に関する計画】

[6] 国際化推進

- 国際化推進については、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を大きく受けたが、状況を見極めた上で推進する。

【社会貢献に関する計画】

[7] 社会貢献

社会貢献については、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により休止していた事業を再開し推進していく。

【施設・設備整備に関する計画】

[8] 建築(小平キャンパスマスタープラン)

小平マスタープランについては、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大の影響により中断していた計画を実施する。2023年度については、財政状況に大きな影響の無い範囲の計画を実行に移す。

[9] 修繕

中長期修繕計画に従って実施する。

[10] 設備更新

中長期修繕計画に従って実施する。

【資金に関する計画】

[11] 資金計画

光熱水費や物価、人件費の上昇等の要因により、2023年度予算の事業活動収支は厳しい状態であるため、収入の確保とともに支出の削減に努め、健全な財政状況の維持を目指す。

【業務運営体制の整備に関する計画】

[12] 認証評価

次回の大学認証評価(2024年度実施、2024年3月申請予定)に向けて準備を進める。

[13] 働き方改革

職員のポテンシャルをフルに発揮できるように働き方を改善する。

[14] 業務改善

業務改善により生産性を上げ、ビジョンの実現に取り組むためのマンパワーを確保する。

【広報に関する計画】

[15] 広報活動

- 創立120周年記念事業の最終年度、新五千円券に津田梅子の肖像が採用されることを機会に、大学ブランドを向上させ、学生募集、寄付金募集に寄与する広報活動を強化する。

【120周年記念事業に関する計画】

[16] 120周年記念事業(最終年度)

- 記念講演会を継続して実施する。
- 募金事業を継続し、目標金額5億円を達成する。
- 理系教育(サイエンス・マインド)強化事業を推進する。
- 国際化推進事業を推進していく。
- 「英語の津田」のさらなる強化事業を進める。

III 予算の概要

2023年度予算については、物価高騰による(前年予算比)光熱水費67百万円増、法定福利費(雇用保険料率、私学共済掛金)の増加、退職金財団掛金率引き上げや、超過勤務手当の支出増により人件費が66百万円増加する。また収入面においても学生生徒等納付金や入学検定料は直近の入試状況を踏まえて、立案している。このように厳しい収支構造が2023年度も続く事が予想される為、予算編成方針を以下の様に定め、予算を立案した。

「経常的な予算(経常予算および別途措置)は、引き続き昨年と同様コロナ禍における支出に対応するため、予算額を一律5%総額5,000万円の削減とする。さらに効率的な執行により全部局で5%総額5,000万円の削減を行い、これを本学全体でのビジョン実現およびコロナ対策及び特別予算(物価上昇対応等)の特別予算とする。よって、

5%+5%の計10%1億円の予算削減を行う。」

左記予算方針の基、必要最低限の予算を立案したが、事業活動収支の経常収支差額は△134百万円、基本金組入前当年度収支差額は△98百万円となる見込みである。そのため、収入増加の大きな要因をなす入学者数の確保とともに、支出削減に努め、特に予算編成方針時に定めた「5%(5,000万円)の節減」を「10%(1億円)の節減」に目標を修正し、財政の健全性を維持することが必須となる。

資金収支の翌年度繰越支払資金は581百万円であり、目安としている500百万円以上の手元資金を確保している。

以下、事業活動収支予算書と資金収支予算書について、2022年度予算に対する2023年度予算の主な増減とその要因、および、特記すべき収入・支出を示す。

■事業活動収支予算書

経常収支差額	△134百万円	予備費	△35百万円	基本金組入額合計	△456百万円
特別収支差額	71百万円	基本金組入前当年度収支差額	△98百万円	当年度収支差額	△554百万円

▶主な増減(前年度予算対比)とその要因

(単位:円)

	科目	増減	要因
収入	1 学生生徒等納付金	73百万円減	1年生は予算定員で計上 実験実習費27百万円減(総合政策学部ノートPC代等)
	2 寄付金	47百万円増	遺贈3件(計158百万)見込み
	3 経常費等補助金	50百万円増	経常費補助金360百万 高等教育修学支援120百万計上
	4 付随事業収入	10百万円減	入寮金・寮舎費減収(コロナ対策のため白梅寮118名定員のみ募集)
	5 雑収入	151百万円減	退職金財団交付金収入減(2022年:138百万⇒2023年:41百万に減少)、モデルルーム(2件)の内、1件が契約満了の為、40百万円減
支出	1 人件費	28百万円減	教職員人件費:66百万円支出増 退職給与引当金繰入:177百万⇒83百万に支出減
	2 教育研究経費	62百万円増	光熱水費67百万円増 委託費(教学システムデータ移行委託)
	3 管理経費	8百万円減	衛生清掃費減(コロナ対応)

特記すべき収入

1. 寄付金(遺贈3件)158百万円見込
2. 高等教育修学支援補助金120百万円見込
3. 施設整備費等補助金64百万円見込
4. モデルルーム73百万円見込

特記すべき支出

1. 奨学金120百万円(高等教育修学支援補助金120百万円を奨学金として支出)
2. 教学システムデータ移行委託費

■資金収支予算書

翌年度繰越支払資金 572百万円

▶主な増減(前年度予算対比)とその要因

(単位:円)

	科目	増減	要因
収入	1 その他の収入	72百万円増	奨学金引当特定資産取崩47百万 退職給与引当特定資産取崩55百万 減価償却引当特定資産取崩512百万
	学生生徒等納付金、手数料、付随事業収入、雑収入の増減は事業活動収支と同一 寄付金、補助金は、事業活動収支で説明済み		
支出	1 人件費支出	43百万円減	教職員人件費:66百万円支出増 退職金支出:164→55百万に支出減
	2 教育研究経費支出	86百万円増	事業活動収支と同様、ただし、減価償却額を除く
	3 管理経費支出	8百万円減	事業活動収支と同様、ただし、減価償却額を除く
	4 施設関係支出	374百万円減	図書館E.V更新、防火区画改修 トイレ警報器の守衛所接続工事 大学ホール換気設備設置 小平マスタープラン(インフラ/引込受変電設備、南北サブステーション変電設備機能追加) 小平マスタープラン(建設/新寮設計)等計上
	5 設備関係支出	80百万円増	S303、S305 教室改修 証明書自動発行機更新 小平キャンパス教室AV機器更新 図書支出 小平キャンパス無線AP更新(2期) 教学システム 等計上
	6 資産運用支出	56百万円増	奨学金引当資産繰入3百万 退職給与引当資産繰入83百万 減価償却引当特定資産繰入150百万 特定目的引当資産繰入2百万

特記すべき収入

1. 減価償却引当特定資産取崩収入 512百万円(内:小平マスタープラン176百万円)

特記すべき支出

1. 小平マスタープラン(建設/新寮設計)
2. 小平キャンパス教室AV機器更新
3. 小平キャンパス無線AP更新(2期)
4. 教学システム
5. 減価償却引当特定資産繰入支出

以上

寄付者ご芳名 (2023年1月1日から2023年3月31日現在 掲載希望者のみ 順不同)

サポート<津田スピリット>募金

【「国際化推進事業」特に、グローバルに活躍する人材育成のため】 匿名

【土居光知先生基金として】 匿名

【津田塾大学教育振興資金】 出雲井 謙一郎 様 岩本 顕 様 正岡 美紀 様 角田 育代 様
三宅 優子 様 原田 栄作 様 穴戸 尚子 様 他4名様

【学修環境整備(小平キャンパス)】 滝澤 美佐子 様

【学修環境整備(千駄ヶ谷キャンパス)】 匿名

サポート<津田スピリット>募金 創立120周年記念事業募金

栗原 敦子 様	結城 保子 様	佐藤 裕子 様	徳永 由佳 様	石川 由紀 様	東尾 尚子 様
西出 郁代 様	早川 明子 様	内田 陽一郎 様	浅井 絵理 様	山崎 志信 様	高原 亜紀 様
大島 雅浩 様	早川 敦子 様	中嶋 喜久子 様	倉田 浩一 様	川口 智子 様	モクレス格拉ミ
神田 淳子 様	陸田 明智 様	濱田 有季 様	浅野 孝子 様	梅津 潮 様	アリアスガル 様
松井 真紀 様	是沢 美寿恵 様	浅野 純子 様	豊島 玲子 様	守屋 圭子 様	パーテルズ 麻吏 様
足立 久美子 様	宮澤 聡美 様	永見 京子 様	長瀬 美紗 様	山口 かおり 様	Ms. Mori Michiyo 様
中野 恵子 様	栗田 里香 様	集貝 久子 様	伊阪 百合子 様	西本 聡子 様	加納 雅彦 様
馬場 すみ子 様	渡辺 由美子 様	吉良 芳恵 様	汐崎 康子 様	駒井 史家 様	内田 奈名子 様
山田 佳弥子 様	高瀬 実花 様	相良 祐子 様	小沢 瑠奈 様	平田 真弓 様	折笠 裕子 様
三澤 由紀 様	高木 和加子 様	中川 洋子 様	水澤 由美 様	小林 知志江 様	田中 潤子 様
山口 修子 様	銭谷 玲子 様	阿部 純江 様	田中 延子 様	柳本 真理子 様	本多 敏朗 様
菊池 好行 様	鎌田 光恵 様	江河 志保 様	中嶋 瑞江 様	新井 由美子 様	西田 理佳子 様
岩田 恵子 様	谷矢 悠子 様	飯田 恵 様	小松 郁美 様	提箸 明美 様	石本文樹 様
越智 京子 様	小池 美枝子 様	駒田 ゆき子 様	小口 悟子 様	牧野 篤子 様	千田 悦子 様
井手 和子 様	川崎 和子 様	白石 直子 様	菅野 恵子 様	内田 千香子 様	佐々木 孝 様
岩崎 了磨 様	和田 智子 様	市川 善一 様	和田 節子 様	竹林 恵子 様	首藤 理江 様
伊東 正博 様	飯塚 壽美 様	眞鍋 恭子 様	高畠 美耶子 様	浅野 里英 様	富永 佳子 様
古矢 治子 様	有地 真澄 様	木倉 由佳梨 様	田中 和子 様	齊藤 菜美 様	神野 智 様
牧野 恵子 様	佐々木 梨乃 様	菅野 泰之 様	野村 節子 様	無田 京子 様	矢野 正浩 様
三井 昌子 様	井出 幸雄 様	石谷 由美子 様	香川 恵理子 様	能戸 由佳 様	土屋 あゆみ 様
保田 紀代子 様	太田 和子 様	尹 美亜 様	山中 燦子 様	國廣 祐子 様	渡辺 恵理子 様
福永 真美 様	國本 キクエ 様	深川 八重子 様	澤野 裕子 様	谷本 亜弓 様	今村 陽一 様
伊佐津 璋子 様	佐藤 久美子 様	門田 進一郎 様	石井 恵 様	篠藤 敦子 様	曾根 昭彦 様
菱田 治子 様	深井 玲子 様	古屋 朝子 様	房野 桂 様	松野 恵美子 様	石渡 智子 様
一色 千賀子 様	岡本 稔子 様	元木 良子 様	小杉 桂子 様	阿部 博子 様	小川 真子 様
宮崎 晴光 様	島塚 絵里 様	今野 由梨 様	穴倉 純子 様	仲原 亜希子 様	吉満 朋子 様
河邊 暁子 様	中山 宏子 様	畠山 尚 様	星野 茂子 様	宮田 夏緒 様	株式会社野崎造園 様
鈴木 涼子 様	犬伏 裕子 様	内田 弘美 様	鬼頭 京子 様	柴田 綾子 様	株式会社東さく技工 様
鈴木 良枝 様	波多野 典子 様	鈴木 永美子 様	仲川 幸子 様	直井 小百合 様	富士建物管理株式会社 様
山本 裕子 様	島田 せつ 様	照山 恵美子 様	清水 稔子 様	高橋 侑希 様	株式会社三菱UFJ銀行
石川 敏子 様	大井 恵子 様	東 あゆみ 様	村上 淳一 様	川本 英樹 様	三鷹支店 様
浅沼 香織 様	田中 順子 様	中西 美喜子 様	桜井 直人 様	大澤 賢治 様	他 267 名様
池田 久美子 様	吉田 小百合 様	赤坂 亮 様	尾曲 弘 様	金子 祥代 様	
藤田 レイ子 様	佐野 富士子 様	伊藤 豪浩 様	劉 桃 様	関島 寿子 様	
福田 陽子 様	松田 紀子 様	疋田 英里 様	堀部 晶子 様	車地 舞 様	

サポート<津田スピリット>募金 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急募金

田口 京子 様 今村 彩織 様 提箸 明美 様 他1名様

創立120周年記念事業 写真展『草木の聲(こゑ)』開催のお知らせ

志村ふくみさん(染織家・人間国宝)の芸術精神を継承するアトリエシムラのものづくりを見つめた写真展を開催します。京都を拠点に活躍する写真家田口葉子さんが、志村さんの詞(ことば)を手がかりに撮影した彩り豊かな写真から、植物の色彩世界の美しさを津田塾大学の豊かな自然のなかで感じとっていただける内容となっています。

開催期間：6月1日(木)～6月23日(金)9:00～16:30

※土曜・日曜を除きます。ただし6月3日(土)、
6月17日(土)は開館します。

費用：無料

場所：津田塾大学小平キャンパス

津田梅子記念交流館内 山根記念ギャラリー

申込：事前申込不要

津田塾大学守衛所にてお名前とご連絡先を記入していただきます。

問合せ：津田塾大学 津田梅子記念交流館

Tel.042-342-5146

創立 120 周年記念事業 津田梅子の小袖修復プロジェクト

▶津田梅子資料室

2022 年 12 月 24 日。色褪せてくたびれた様子だった「津田梅子の小袖」が、1 年間にわたる修復を終え、鮮やかな色合いと輝きを取り戻し、本学へ帰ってきました。

2019 年の計画始動から約 3 年。途中、コロナ禍による中断もあり、一時は中止も検討されたほどでした。いま、手元に帰ってきた小袖の明るく愛らしい姿を見るにつけ、最後までやり通せた安心感と同時に、美しさを損なわずに伝えていく責任も感じています。

本プロジェクトは、女子美術大学染織文化資源研究所の皆様、とりわけ総監督となって計画を主導してくださった大崎綾子先生のご協力があってこそ、成し遂げられました。丹念な調査と繊細で丁寧な技術を駆使し、工芸や美術について知識がほとんど無い我々と根気強くお付き合いいただき、数多くのアドバイスまで送ってくださった、大崎先生とスタッフの皆様に、心から感謝申し上げます。

修復完了した小袖は、資料保存の観点から「1 年間に最大 6 日間まで」という展示制限が必要です。そこで、雨の少ない時期を選び期間限定展示を行う予定です。ご期待ください。

なお、女子美術大学のプロジェクトチームにより、本年 6 月に開催される「文化財保存修復学会」でも成果報告がなされる予定です。

2022 年度は日本の美術・工芸史の一端に、そして素晴らしい伝統技術に思いがけず触れることができた、感動の 1 年となりました。この感動を後々まで伝えていきたいと思います。



2023 年度「津田梅子賞」実施のお知らせ

創立 110 周年を記念し創設された「津田梅子賞」は、津田梅子のパイオニア精神にちなみ、女性の未来を拓く可能性への挑戦を顕彰することを目的としています。2023 年度は次の要領で実施いたします。

●選考対象

- 以下の 1. または 2. に該当する個人／団体で、現代社会に顕著な影響を与えた方
1. 女性の可能性を広げる取り組みを行う個人または団体・組織（性別を問いません）
 2. さまざまな分野で先駆的な活動を展開した女性

●副賞

1 名または 1 団体につき賞金 30 万円

●応募方法

1. 所定の推薦書に、候補者（個人／団体）と推薦対象となる取り組みの詳細を記入してください。
2. 下記「お問い合わせ先」まで 1 部を郵送してください。推薦書は本学公式 Web サイトよりダウンロードしていただけます。

<https://www.tsuda.ac.jp/aboutus/umeko-award/index.html>

また、活動に関する参考資料などがありましたら、説明書きを添付して同封して下さい。なお、応募は他薦に限ります。

●応募受付期間

2023 年 4 月 14 日（金）～ 2023 年 7 月 7 日（金）（必着）

●お問い合わせ先

〒187-8577 東京都小平市津田町 2-1-1
津田塾大学 経営企画課内「津田梅子賞」事務局
Email: senryaku@tsuda.ac.jp



公式 Web サイト
「津田梅子賞」



◦シリーズ 津田梅子と津田塾大学を知る 1 冊

岩波ジュニア新書 『津田梅子 女子教育を拓く』（高橋 裕子 著）

アメリカ社会史、津田梅子の研究者である本学高橋裕子学長が、津田梅子の足跡を中学生や高校生など若い世代にも知ってほしいと平易な文章で執筆した一冊。

1871 年、使節団とともに、女子留学生の一員として渡米した津田梅子は、11 年間かの地で教育を受け帰国。その成果を日本の女性のために役立てたいと願うが……。日本の女子教育のパイオニアであり、シスターフッドを体現した津田梅子の足跡を、その内面や思索にも迫りつつ、最新の研究成果・豊富な資料をもとに解説する。

（岩波書店 2022 年 9 月発行 新書サイズ 230 ページ）



©丹地陽子

新任教職員紹介

教員

(4月1日付)



学芸学部英語英文学科 専任講師
井原 駿

専門は言語学、特に意味論・語用論と呼ばれる領域です。私たちが普段何気なく用いている「ことば」の意味とその解釈の仕組みについて、集合や関数などの数学的な概念を用いて研究しています。大学には、自分にとって真新しい価値観や知見に触れるチャンスがそこら中に広がっています。ポジティブかつ気楽に、これまでの常識や当たり前を疑い、自己をアップデートしながら、実りある大学生活を送ってください。



学芸学部英語英文学科 専任講師
SUEN, Rosa Wing Sum

専門は応用言語学です。特に英語教育におけるスキル別の指導法を研究しています。限られた授業時間をいかに有効活用して学習者に無駄なく学習目標を達成させるかは教育者にとって大事なことなので、効果的な指導法を提案できるように日々研究を頑張っています。英語教育について学生のみなさんと共に考えながら、個々のコミュニケーション力の育成にお手伝いできれば幸いです。



学芸学部英語英文学科 助教
石川 めぐみ

助教として母校に帰って来られたことに心から感謝し嬉しく思います。学生のみなさんと、刺激的で知的な時間を共有できることを楽しみにしています。専門は、乳幼児の言語獲得について様々な実験手法で研究しています。どうぞよろしくお願いいたします。



学芸学部国際関係学科 助教
白峰 彰子

現代インドのカースト差別に関わる研究をしています。最近は特に、農村と都市で経験される差別の違いをフィールドから得た資料に基づいて分析しています。排除や格差、貧困やジェンダーの問題を考える素地となるような授業を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。



総合政策学部総合政策学科 教授
佐々木 尚之

専門は生涯発達学です。少子高齢化社会における課題を検討し、グローバルな視点で家族のあり方そのものを問い直すことを研究課題としています。社会が高等教育に求めることが大きく転換しているなかで、まさに「逆境を、創造を灯す光に」の精神で、挑戦を恐れず、情熱をもって学ぶ楽しさを学生に伝えたいです。



総合政策学部総合政策学科 助教
LIM DONGWOO (林 東佑)

出身は韓国で、専門はメディア・コミュニケーションです。データに基づいてメディアと社会の関係について分析しています。計算社会科学、ソーシャルメディアやフェイクニュース、ヘルスコミュニケーションなどに関心があります。津田塾の先生方や学生の皆さんから学ばせていただきながら、楽しく研究していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



文学研究科英語教育実践研究 特任准教授
豊嶋 朗子

英語教育、第二言語習得、日本人英語学習者の英語学習発達を専門としています。英語学習者の学習参加を促す英語教授法、英語学習におけるデジタルテクノロジー使用、学習評価の在り方など、英語教師を取り巻く問題を研究してきましたが、本学で実際に教鞭をとられている方々と活発に議論できるのを楽しみにしています。



事務局付(情報サービス課システム・サービス室業務担当)

新井 匠美

前職では、損害保険の事故受付システムの開発を行っていました。また約1年弱、ビジネス系の新人研修の企画・運営を行っていました。津田塾大学の一員として、学生の成長に貢献できることを嬉しく思っています。自分自身も自律した個人として成長し、皆様と協業しながら楽しくお仕事ができたと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局付(教務課業務担当)

伊藤 聡美

4月より教務課に配属となりました。前職では保険会社で営業支援・事務企画等に従事しておりました。スポーツ観戦や旅行することが好きです。全く別の業界からの参画となりますが、1日でも早く業務を覚え、本学に貢献できるよう精進いたしますので、よろしくお願い致します。

事務局付(管理課業務担当)

栗山 加奈

前職では電機メーカーで営業をしており、主に愛知県で昇降機の更新工事に関する提案をしてきました。

この度、歴史ある建物を所有する津田塾大学で働けることを大変嬉しく思います。至らない点もあるかと思いますが、一日でも早く貢献できるよう精進してまいりますので、これからよろしくお願い致します。

事務局付(入試課業務担当)

相馬 あい

入試課に配属になりました相馬あいと申します。大学ではスポーツ健康科学を学び、また、体育会のラクロス部に所属していました。本学の発展に貢献できるよう、ひたむきに励んでまいります。どうぞよろしくお願い致します。

事務局付(情報サービス課メディア・サービス室(図書館)業務担当)

松井 夏希

初めまして。この度情報サービス課に配属になりました、松井夏希です。学生時代はバレーボールの大学リーグ観戦に足繫く通ったり、ドライブしながら温泉巡りをしたりしていました。小平市出身ですので、ゆかりのある津田塾大学で職員として働けること、大変うれしく思います。一日でも早く仕事を覚え、貢献できるよう邁進してまいりますので、よろしくお願い致します。

事務局付(ウェルネス・センター事務室業務担当)

宮西 愛美

前職では、国立大学にて留学生支援や人事労務、附属病院での業務に従事しておりました。この度、母校である津田塾大学で職員として働く機会をいただけたことをとても嬉しく思います。これまでの経験も活かしつつ、一日でも早く力になれるよう精進してまいります。これからどうぞよろしくお願い致します。

事務局付(学生生活課業務担当)

保田 梨沙

出身大学は筑波大学で体育を専攻しておりました。その後大学院に進学後は、スポーツ医学分野の研究活動に取り組んでいました。津田塾大学の職員としてお仕事をさせていただけることに大変嬉しく思います。一日でも早く仕事に慣れ、学生の皆様のお手伝い出来るよう日々精進してまいります。何卒よろしくお願い致します。

事務局付(千駄ヶ谷キャンパス事務室業務担当)

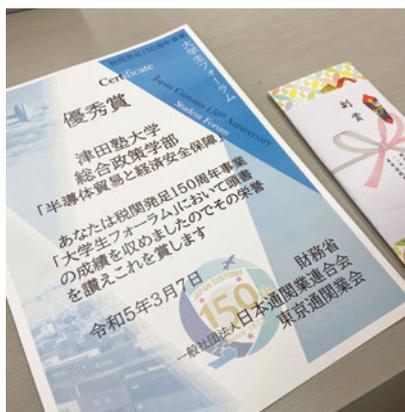
山口 界

4月より千駄ヶ谷キャンパス事務室に配属となりました。前職では航空会社の総合職として、人事・総務や産学連携などの業務を経験してまいりました。大学での勤務は初めてですが、これまでの経験も活かしながら、1日も早くみなさまのお役に立てるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

税関発足 150 周年事業「大学生フォーラム」にて総合政策学部のチームが「優秀賞」を受賞

2023年3月7日に税関発足150周年を記念し、「大学生フォーラム 日本経済を発展させ、日本国民の生活を豊かにする貿易とは何か」(財務省関税局、一般社団法人日本通関業連合会、東京通関業会主催)が東京税関にて行われました。

本学からは総合政策学部3年生津田京香さん、森悠里さんのチームが参加し、「半導体産業と経済安全保障」をテーマとした研究発表を行い優秀賞を受賞しました。



優秀賞の賞状と副賞



税関のイメージキャラクター「カスタム君」とともに

「デモクラシー・ナウ！ 学生字幕翻訳コンテスト2022」で最優秀賞受賞

英語英文学科4年生の五十嵐あさひさんが「デモクラシー・ナウ！ 学生字幕翻訳コンテスト2022」の課題3「米国史の見直し」で、「ニコル・ハンナ＝ジョーンズが語る「1619プロジェクト」 批判的な人種理論の教育 裁かれる白人至上主義」が最優秀賞を受賞しました。

受賞作品の字幕動画はデモクラシーナウ・ジャパンの動画サイト (<http://democracynow.jp/video/20211123-1>) & YouTubeチャンネル (<https://www.youtube.com/watch?v=ygssJAKPmlw>) で掲載されています。

キャリア・センターおよび学外学修センターがリニューアルしました

2023年4月よりキャリア・センターと学外学修センターの窓口を集約しました。小平キャンパスは7号館1階7103、千駄ヶ谷キャンパスは1階SA107のキャリア・センターをリニューアルし、小平キャンパスでは2センターのスタッフが常駐しています。

学外学修センターでは1年生から参加できるインターンシップやボランティアなどのプログラムを紹介しています。キャリア・センターでは就職以外にも進学に関する資料や先輩の体験談等を提供し、あらゆる進路選択を支援しています。低学年から両センターを相互に利用することで、視野を広げていくとともに、主体的にキャリア選択ができるよう、一体となって支援していきます。

センター内のスペースでは、卒業生との懇談会や学生スタッフによる相談会等も企画しています。ぜひ、在学生も卒業生のみなさんも一度センターへ足を運んでみてください。



2022年度 卒業礼拝 奨励要約

朽ちない種を ペドロの手紙(一) 第1章 22～25 節(新共同訳)

▶開智国際大学 前学長 北垣 日出子

学長の任期もあと一年に迫っていた2021年3月初め、私は脳梗塞の発作を起こし3週間の入院を余儀なくされました。「あと1年なのに…。どうしてこんなことになってしまったのか…。」この状況を素直に受け止められず、祈りつつ、不満をぶつけていた私は、ペドロの手紙1章24節の御言葉に出会いました。

あなたがたは、朽ちる種からではなく、朽ちない種から、すなわち、神の変わることはない生きた言葉によって新たに生まれたのです。こう言われているからです。「草は枯れ、花は散る。しかし、主の言葉は永遠に変わることがない。」

闘病生活は、残り1年の任期を全うするために、朽ちない種を大切に、下へ下へと根を下ろし、美しい花を咲かせるための充電期間と捉えなさい、という私に対する神様の愛に満ちた福音のことばにちがいない、と考え直すようになりました。

皆さんは、キリスト教が建学の精神の礎にある津田塾大学の教育を受けてこられました。いつか根を下へ下へと下ろし、生き生きとした葉を広げ大輪の花を咲かせる「朽ちない種」が、お一人お一人に与えられているのです。そのことに気づき育まれることを願いつつ奨励いたします。ご活躍をお祈りいたします。



永年勤続教職員表彰

永年勤続教職員表彰は、2022年1月に新設された制度で、勤続20年、30年、40年の教職員の功績を称え表彰するものです。

2023年3月31日をもって勤続年数が基準に達したとして、今年は以下の教職員が表彰されました。なお、3月31日付退職者には、「津田塾友」の称号も同時に授与されました。

(アルファベット順)

■ 2023年3月31日付退職者表彰

<教員>

Jonathan David Picken 英語英文学科 教授

<職員>

●事務局付専門員

古屋 敦子 学生生活課

城井 文子 情報サービス課メディア・サービス室(視聴覚センター)

大竹 加余子 教務課

澤田 あゆみ 経理課

利根川 恵子 情報サービス課メディア・サービス室(図書館)

石井 ゆかり ウェルネス・センター事務室

●嘱託職員

高野 ひとみ 情報サービス課システム・サービス室(計算センター)



3月31日付退職者 表彰式

■ 2023年4月1日付表彰

<教員>

阿部 曜子 英語英文学科 准教授

(2023年度サバティカルリブのため、表彰式は欠席)

中井 博康 国際関係学科 教授

<職員>

●専任職員

伊藤 豪浩 総務課

●嘱託職員

浅子 千草 情報サービス課メディア・サービス室(図書館)

八木澤 香陽子 学芸学部事務室



4月1日付表彰者 表彰式

理事会・評議員会開催報告

第315回理事会 2023年1月27日

【協議事項】

1. Tsuda Vision 2030 の進捗と次期中期計画に関する件

【報告事項】

1. 文部科学省の文教政策について
2. その他

第316回理事会 2023年3月2日

【審議事項】

1. 2023年度事業計画(案)に関する件
2. 2023年度予算(案)に関する件
3. 津田塾大学学則の改正に関する件

【報告事項】

1. 公的研究費に係る優れた取組(グッドプラクティス)としての本学の事例紹介について
2. その他

第199回評議員会 2023年3月24日

【諮問事項】

1. 2023年度事業計画(案)に関する件
2. 2023年度予算(案)に関する件

【報告事項】

1. 2022年度事業計画に係る中間報告について
2. 公的研究費に係る優れた取組(グッドプラクティス)としての本学の事例紹介について
3. 文部科学省の文教政策について
4. 私立学校法の改正について
5. 卒業式について
6. その他

第317回理事会 2023年3月24日

【審議事項】

1. 理事の選任に関する件
2. 2023年度事業計画(案)に関する件
3. 2023年度予算(案)に関する件
4. 寄附行為の変更に関する件

【報告事項】

1. 創立120周年記念事業募金の中間報告について
2. 2022年度内部監査報告書について
3. 文部科学省の文教政策について
4. 私立学校法改正について
5. 卒業式について
6. その他

津田梅子記念交流館プログラム

詳細は津田梅子交流館 Web サイト (<https://koryukan.tsuda.ac.jp>) をご覧ください。

夏休み子ども英語プログラム ～津田塾生とつくる英語劇 2023～

「Life and Art of Tove Jansson ～ムーミンとの歩み～」

日 程：2023 年 7 月 31 日 (月)～8 月 6 日 (日)

* 8 月 3 日 (木) はお休み

時 間：10：30～14：30 (お昼休みを挟む)

場 所：津田塾大学 (小平キャンパス)

対象年齢：小学校 5 年生～中学校 2 年生

費 用：10,000 円 (プロによる撮影代込)

定 員：15 人前後

お申込み・お問い合わせ：経営企画課 Tel 042-342-5146

公開講座「総合」2023

現代のさまざまな問題を取り上げ、学生が主体となり教員と協力して運営に当たる「総合」。2023 年度は「自分軸を考える～なに、なぜ、どうする～」をテーマに、各回でご活躍の方々にご講演いただきます。

講 師：公演予定者については、本学公式 Web サイトをご参照
ください。

日 時：授業期間中の毎週木曜日 13:00～14:30

場 所：小平キャンパス

参加費：無料。18 歳以上のどなたでも参加できます。

お申込み：不要。本学正門守衛所にて、氏名等をご記入ください。

その際、顔写真付きの身分証明書をご提示ください。

お問い合わせ：教務課 Tel.042-342-5130

お知らせ

■ 第64回 津田塾祭 (小平キャンパス)

10 月 21 日 (土)、22 日 (日) に小平キャンパスにて津田塾祭を開催します。

公式 Twitter：[@tsudajukusai](#)

公式 Instagram：[tsudajukusai](#)

公式 Web サイトは津田塾祭で検索！

■ 第 7 回 津田ヶ谷祭 (千駄ヶ谷キャンパス)

11 月 18 日 (土)、19 日 (日) に千駄ヶ谷キャンパスにて津田ヶ谷祭を開催します。

公式 Twitter：[@Tsudagaya](#)

公式 Instagram：[tsudagaya_fes](#)

公式 Web サイトは津田ヶ谷祭で検索！

■ 2023年度オープンキャンパス

7、8 月は在学生による Q&A セッション、模擬授業、入試のポイント解説などのプログラムを予定しています。詳細は各開催日の 1ヶ月前頃に本学 Web サイトで公開します。

● 小平キャンパス (学芸学部)

2023 年 7 月 23 日 (日)、8 月 12 日 (土)、13 日 (日)

2024 年 3 月 24 日 (日)

● 千駄ヶ谷キャンパス (総合政策学部)

2023 年 7 月 9 日 (日)、8 月 6 日 (日)

2024 年 3 月 20 日 (水・祝)

■ 授業体験 day@ 津田塾 (祝日授業体験)

● 小平キャンパス・千駄ヶ谷キャンパス

2023 年 9 月 18 日 (月・祝)

2 限～4 限 (10：30～16：10)

※事前予約制

祝日に行われる平常授業を高校生 (既卒生も可) に公開します。詳細は本学公式 Web サイトでお知らせします。お知り合いの高校生にぜひご案内ください。

■ 学外進学相談会

他大学と合同で開催する進学相談会です。2023 年度は下記会場に参加します。

開催日	会 場		開催日	会 場	
6 / 7 (水)	東京	新宿 NS ビル	7 / 17 (月・祝)	新潟	代々木ゼミナール 新潟校
6 / 9 (金)	愛媛	松山市総合コミュニティセンター体育館	8 / 26 (土)	広島	広島産業会館
6 / 11 (日)	千葉	東京ベイ幕張ホール		熊本	熊本壺湊塾 坪井本校
6 / 18 (日)	東京	池袋サンシャインシティ	8 / 27 (日)	岡山	杜の街グレースオフィス
	山梨	アイメッセ甲府	9 / 18 (月・祝)	石川	もてなしドーム
6 / 22 (木)	香川	JR ホテルクレメント高松	9 / 23 (土・祝)	茨城	つくば国際会議場
7 / 15 (土)	神奈川	大学受験 STEP 藤沢校	9 / 24 (日)	神奈川	パシフィコ横浜
	東京	池袋サンシャインシティ	10 / 15 (日)	東京	池袋サンシャインシティ

※日程が追加・変更となった場合は大学の公式 Web サイトにて随時追記いたします。

お問い合わせ：経営企画課 kouhou@tsuda.ac.jp Tel.042-342-5113



Tsuda Today No.127

発行日 ● 2023 年 5 月 31 日

発 行 ● 津田塾大学

編集 ● 経営企画課 〒187-8577 東京都小平市津田町 2-1-1

Tel. 042-342-5113 <https://www.tsuda.ac.jp/>

表紙切り絵 ● CHIKU

(種村千明・2000 年卒)